

# 令和5年度 社会福祉法人石脇福社会 事業報告書

## 【総括】

4年にわたるコロナ禍が明け、経済を始めようやく社会活動も日常を取り戻しました。それでも、各施設関係者の年間感染者数は、把握出来ているだけでも400人を超える中、基本的な感染拡大防止対策を継続しながら、各行事も含めた保育活動は、ほぼ通常に戻って取り組むことが出来た1年でありました。

令和4年に戦後最少の77万人となった出生者数は、令和5年の推計値で70万人を割り込もうとするペースで減少しています。加えて15歳未満の子どもの数は43年連続で減少し、秋田県は県人口の9.1パーセントと全国最低となっています。

保育所の待機児童数も全国で3,000人を割り込み、大都市を含めて定員割れが顕著となり、入所率は90パーセントを切っている状況です。

石脇福社会では、0歳児入所でどうにか成り立ってきた経営が、育児休業取得の定着とも相まって、その0歳児入所が減少したほか、保育士不足から入所児童の受入が難しいことも重なり、令和3年度から経常収支の赤字が続いております。

こうした状況を踏まえ、中長期計画の重点目標に基づいて、令和5年度は主に次のような取り組みを行って参りました。

### 1. 利用定員見直しと施設の統廃合に向けた協議

可能な受入態勢の中で入所児童数の見込みを推計し、各施設の利用定員の見直しについて検討しました。令和6年度より、石脇北保育園は80名から70名に、石脇東保育園は5年度に続いて10名減とし80名とするとの結論を得たところです。

ただ、入所児童に伴う定員削減という手法だけでは、法人経営が益々厳しさを増すことから、今後、持続可能な経営確立のために、次に述べる施設の統廃合と関連させながら根幹となる施策を考えて参ります。

施設の統廃合については、石脇北保育園の閉所と石脇東保育園の改築に向けて、役員と関係施設の園長及び主任保育士をメンバーとする「施設整備等準備委員会」を設け、令和6年度の「検討委員会」立ち上げに向けた課題の整理を行ったところです。

方向性としては、概ね中長期計画に掲げた方針とスケジュールで進めていくという確認を得たところですが、石脇北保育園利用者の今後の入所意向調査では、改築を予定する石脇東保育園への入所希望が少ないという動向もあり、今後、園舎の規模や配置等について、建設に係る資金計画と合わせて、更なる検討が必要であると考えております。

### 2. 職員の資質向上に向けた研修の取り組み

「五園合同研修のまとめ」に集約したように、経験年数に応じた研修や、職種毎の

テーマを設けた研修、新任職員や育成担当者のフォロー研修など、多岐にわたる研修を実施出来たことは、個々の技術的な向上に留まらず、意見交換や交流の場にもなっているところであり大いに評価するものであります。

特に育成計画においては、資質向上は取りも直さず「保育士の喜びと達成感」に繋がることを心がけ、様々な課題を職員間で話し合う中で、保育園の職員であると同時に法人の職員であるという意識も徐々に醸成されつつあると感じております。

今後は、採用活動の例に見るように、職員研修という集団的な関わりに留まることなく、職員個々への関わり方が大切になってくると思われまます。

### 3. 職員の離職防止と働きやすい職場環境の構築に向けた取り組み

この3月末で定年を含めて8名の保育士の退職があり、それぞれ個別の事情があるとはいえ、かつてない数の退職者となりました。

保育士も10名を超える募集をしたところでしたが、新卒を含めて応募者がゼロという結果となりました。保育士志望の学生が減っていることのほか、若者の職業観の変化に対応した採用活動が必要であり、集団対応だけではなく、個別の学生たちとの関係性にも配慮が必要であることを実感しております。

大量の離職者が出てしまったことを受けて、職員個々のモチベーションの維持と自己肯定感を高めていくことは勿論のこと、さらには、相談がしやすく風通しの良い職場環境に配慮しながら、職員の定着化を図るためにはどういった点に留意していく必要があるのか、改めて大きなテーマを抱えることとなりました。

職員不足による業務への歪みは、ノンコンタクトタイムでの保育の振り返り時間の不足や、労働基準監督署の勧告に到ったタイムカード打刻後の時間外勤務等が常態化してしまった要因の一つにもなっています。

こうした通年の繰り返しから生じるチェック体制の甘さや法人としてのガバナンス機能低下に気付かされ、改めて経験主義に頼る死角を認識させられた年度でもありました。

## 【令和5年度事業の主な実施内容】

＜会務の運営＞ 案件等は業務執行報告書で報告済みであることから省略

1. 定時評議員会 期日 令和5年6月28日  
出席 評議員、理事、監事、園長 24名
2. 理事会  
【第1回】期日 令和5年 6月12日 出席 理事、監事、園長 13名  
【第2回】期日 令和5年 6月28日 出席 理事、監事 11名  
【第3回】期日 令和5年 7月27日 出席 理事、監事、園長 14名  
【第4回】期日 令和5年 11月30日 出席 理事、監事、園長 15名  
【第5回】期日 令和6年 2月28日 出席 理事、監事、園長 15名  
【第6回】期日 令和6年 3月27日 出席 理事、監事、園長 14名

3. 三役会議（理事長・副理事長・常務理事）

【第 1 回】期日 令和 5 年 4 月 17 日 【第 2 回】期日 令和 5 年 7 月 14 日  
【第 3 回】期日 令和 5 年 8 月 25 日 【第 4 回】期日 令和 5 年 9 月 11 日  
【第 5 回】期日 令和 5 年 10 月 5 日 【第 6 回】期日 令和 5 年 11 月 14 日  
【第 7 回】期日 令和 5 年 12 月 27 日 【第 8 回】期日 令和 6 年 1 月 19 日  
【第 9 回】期日 令和 6 年 2 月 16 日 【第 10 回】期日 令和 6 年 3 月 19 日

4. 施設整備等準備委員会 3 回 委員 5 名、正副理事長

5. 監事会及び各施設監事監査

期日 令和 5 年 5 月 24 日、29 日・30 日・31 日

出席 監事会 監事・常務理事

監事監査 監事・常務理事・園長・事務員

6. 意見・要望等の相談解決に係る第三者委員会

期日 令和 5 年 11 月 14 日

出席 第三者委員、三役・各園園長・主任 16 名

7. 五園園長会議（毎月開催）

8. 五園主任会議（毎月開催）

9. 五園専門委員会及び研修事業

・下記専門委員会等を随時開催し、業務の円滑な推進と課題の解決に向けた活動を展開

○園長協議・園長主任合同協議（随時）

○研修委員会（随時 8 名）

○給食研修委員会（随時 12 名）

○事務会議（随時 7 名）

<役員・評議員研修への取り組み>

○財務研修及び報告事項

期日 令和 5 年 11 月 30 日

出席 役員、評議員、各園長 22 名

○県社会副法人経営協議会前期・後期セミナー

期日 令和 5 年 9 月 11 日、令和 6 年 2 月 9 日

出席 3 役

<職員研修への取り組み>

○五園合同研修

期日 令和 6 年 1 月 26 日

出席 職員 70 名、3 役

<保育研修> テーマ「職員の資質向上」

※サブテーマ「子どもの発達をふまえて保育を語り合う」

\* 井桁容子先生監修 DVD 鑑賞後、担当年齢毎のグループ討議

\* 成 果…各年齢層に応じた事例・キーワードを題材にすることで、言葉の意図を様々な視点で捉え情報共有出来た

付箋紙を使用したブレインストーミングにより発言しやすい環境を作りだし、それぞれの意見を可視化出来た

\* 課 題…研修で得た学びの保育への活かし方の検証

非常勤職員の参加に向けた日程等の調整

○公開保育

- \*ねらい…公開する側も見学する側も振り返りにより自身の保育の課題を明確にし、その後の保育に活かす
- \*成果…それぞれの視点で参観し話し合いの場に重点を置いたことで、多面的に子どもを理解するきっかけになるなど、保育の振り返りに繋がる
- \*課題…自身の保育にどう生かしているのか継続的に共有する必要  
公開保育を園全体の研修として捉え、学びを発信する

○保育体験・食育実習

- \*ねらい…2・3年目を対象とし、新任保育士は自園での学びを重点化し育成。
- \*成果…育成計画を基に丁寧に育成に関わることが出来、園全体で継続的に育成していこうする意識が高まった
- \*課題…他園での実習する意義を再度明確化し、園内ではどう見守るか、更に、五園全体の人財育成に繋がるよう発信する

○育成計画・フォロー研修・自己評価

- \*ねらい…同じ職種・経験年数に分かれて率直な思いを伝える場にし、自己評価は、内容を見直しして実施
- \*成果…育成担当は話し合いにより、新任職員は研修委員と共に考えることで、解決の糸口を見つけられた
- \*課題…新任職員が安心して働ける環境として、園全体で育成に関わる自己評価を活用した振り返りと丁寧な見守り育成への園内の共通理解とフォロー研修の持ち方を見直し

◇外部研修派遣

- リモート研修の定着により、対面研修は減っても各職員の受講機会の確保にはなっている。研修による拘束により保育士配置態勢の維持に課題がある

10. 主な地域交流事業

◇ほぼ、コロナ禍前の事業の運営に戻し、工夫しながら実施・参加に努めた

- ふれあいの日園庭開放(未就園児)
- 看護・保育短大等の実習生や中学生職場体験の受入
- 小・中・高生との交流及び石脇地区各種団体交流会
- 田植え、稲刈り体験
- 学童クラブ情報交換会
- 地区文化祭・敬老会(一部ビデオ参加)・お祭り・消防出初式等への参加
- 地域との総合防災訓練
- 人権学習会(人権擁護委員会/各園)
- 七夕・ハロウィン・クリスマス地域交流及びありがとうの会
- あいあい遊び講座、子育て相談
- 絵本読み聞かせボランティア受入
- 市民まつり絵画出展及び本荘街中ひなめぐり展示(修身館)
- 小学校運営協議会、高校評議員会、幼保小連絡協議会など

◆事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、附属明細書は作成していない。